

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立坂戸西高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	単位制高校の趣旨や特性を踏まえるとともに、学校評価協議会を通じて生徒・保護者や地域のニーズを把握するなどして、目指す学校像が設定されている。長らく同じ学校像が続いているので、学校に寄せられる期待に十分応え、学校の特色や強みを生かしたものとなるように、更に具体的かつ魅力ある学校像にしていきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、中期的な視点から重点目標が設定されている。学校内外の環境分析・考察を十分に行い、校内で共通理解を図るとともに課題を把握して、その解決に向けたより一層の目標の重点化が望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	重点目標の達成に向けて評価項目に必要な年度の達成目標が設定されている。学校全体の目標を踏まえ、評価運営委員会が中心となって取組を進めているが、分掌・年次等で検討される方策等を学校全体のシートにフィードバックするなど相互の連携を図り、学校自己評価の運営について更なる工夫ができると良い。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	「坂西活性化部会」を立ち上げるなど、喫緊の課題である基礎学力の定着に向け、重点的な取組が進められており、今後の成果が期待される。方策や評価指標がやや抽象的であるので、評価項目の達成に向けた具体的な方策を策定し、教職員間でその達成イメージを共有できるような分かりやすい指標を設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状・課題を踏まえた学校経営の明確な方針を持って取り組んでいる。校長の経営ビジョンの浸透を図り、的確なリーダーシップの下、全教職員が目標達成に向けて共通理解と組織的な取組を行って、寄せられる期待に応えるようにすることが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートや学校関係者評価など、学校の取組を振り返るための情報を収集している。課題や次年度への改善策を明らかにするため、必要なデータとなるように各種アンケートの工夫を進め、学校関係者の意見やアンケートの結果等を更に分析して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていきたい。	
特記事項			